

栗原フォトクラブ



栗原フォトクラブの歩み

栗原フォトクラブの始まりは、平成23年に栗原遊水池に「空飛ぶ宝石」と称される「カワセミ」を撮影する数名の方々に於いて、自然発生的に生まれたクラブで、幅広い年齢構成の中、様々な人生経験を持たれた方々が集い、写真を通じて楽しい活動をスタートしたのが始まりです。人生の大先輩である河原哲男氏の卒寿を祝うことを記念して第1回の写真展

展を平成24年2月に座間駅前のギャラリー・アニータで開催したのが写真展の始まりです。第2回以降は会員も増加に伴い会場をハーモニーホール座間1Fギャラリーに移して開催し、今年第5回を迎えました。「感動とトキメキに出会える写真展」として、数多くの写真を皆様にご紹介して参りました。

2015年には、カメラ雑誌「日本カメラ」にクラブ紹介が掲載されました。地域に根ざした写真クラブとして頑張っていきたいと考えています。

